

LOGO Guideline

#### はじめに

本ガイドラインは、「次世代言語科学研究センター」ロゴの 使用にあたり、ブランドイメージの視覚的統一を図るため のルールを記載しています。

ロゴを使用する際には、本ガイドラインを参照し、ブランドイメージを効果的かつ的確に印象づけるデザイン開発を 心がけてください。

#### 目次

ロゴ(コンセプト)	01
構成要素	02
バリエーション	03~00
保護領域 ————————	07~1
最小サイズ ――――	12~13
カラー	14
背景色規定 ————————————————————————————————————	
使用禁止例 ————————————————————————————————————	

#### ロゴ (コンセプト)



次世代言語科学研究センターのロゴは、「言」の文字がモチーフとなっています。 右上へまっすぐ伸びる 4 本の矢印には、Electronic、Evidence Based、Experimental、Predictive の意味(E3P)を込めました。 未来、次世代へ言語科学研究を先導していく意志を表現しています。

#### 構成要素

次世代言語科学研究センターのロゴは、シンボルマークとロゴタイプの組み合わせで成り立っています。それぞれ単独、または次ページ以降にあげる組み合わせバリエーションから選択して使用することを基本とします。利用シーンにより個別にシンボルマーク、ロゴタイプを組み合わせることも可としますが、その際は P.07 に定める保護領域を守るようにしてください。

① シンボルマーク 1



③ ロゴタイプ日本語

## 次世代言語科学研究センター

④ ロゴタイプ英語1

Advanced Language Science (E3P) Research Center

②シンボルマーク 2(E3P なし)



⑤ ロゴタイプ英語2(2行表記)

Advanced Language Science (E3P) Research Center

#### バリエーション(センター名のみ)

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせバリエーションです。

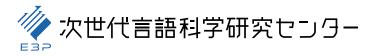
#### ⑥ 日本語+英語



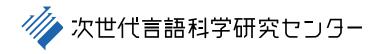
⑦ E3P なし、日本語+英語



⑧日本語



⑨E3P なし、日本語



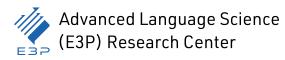
#### ⑩ 英語 1 行



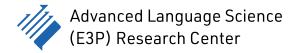
① E3P なし、英語 1 行



⑫ 英語 2 行



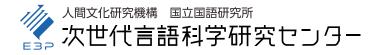
<sup>13</sup> E3P なし、英語 2 行



#### バリエーション (研究所名+センター名(日本語))

人間文化研究機構 国立国語研究所の日本語名称と併記したバリエーションです。

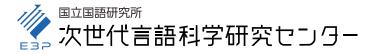
(4) 人間文化研究機構+国立国語研究所+センターロゴ(日本語)



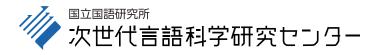
⑤ 人間文化研究機構+国立国語研究所+E3P なしセンターロゴ(日本語)



⑥ 国立国語研究所+センターロゴ(日本語)



⑦ 国立国語研究所+E3P なしセンターロゴ (日本語)



⑱ 研究所名(日英)+センターロゴ(日英)



(9) 研究所名 (日英) + E3P なしセンターロゴ (日英)



#### バリエーション (研究所名+センター名 (英語))

国立国語研究所の英語名称と併記したバリエーションです。

② 研究所名+センターロゴ(英語1行)



# National Institute for Japanese Language and Linguistics Advanced Language Science (E3P) Research Center

② 研究所名 + E3P なしセンターロゴ (英語 1 行)



② 研究所名+センターロゴ (英語2行)



② 研究所名 + E3P なしセンターロゴ (英語 2 行)

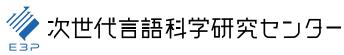


#### バリエーション (研究所ロゴ併記 (日英))

国立国語研究所のロゴと併記したバリエーションです。

24 研究所ロゴ+センターロゴ(日本語)





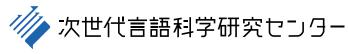
26 研究所ロゴ+センターロゴ (英語)



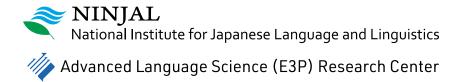
Advanced Language Science (E3P) Research Center

② 研究所ロゴ+E3P なしセンターロゴ (日本語)



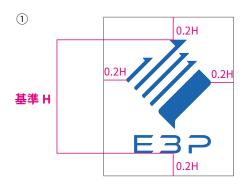


② 研究所ロゴ+E3P なしセンターロゴ(英語)

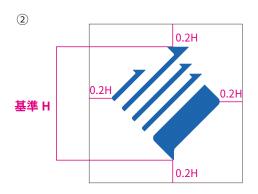


#### 保護領域 (1~5)

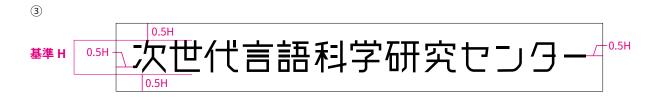
ロゴを使用する際には、視認性や品質を保つためにロゴの周囲に一定以上のマージンをとってください。こちらに定められた長さと同じかそれ以上のマージンを周囲に確 保します。この領域内には、他の一切の要素を入れることを禁止します。



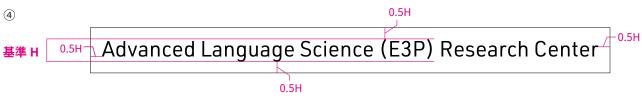
シンボルマークの高さを基準 H として、 周囲に 0.2H 以上のマージンをとります。



シンボルマークの高さを基準 H として、 周囲に 0.2H 以上のマージンをとります。



ロゴタイプの高さを基準 H として、周囲に 0.5H のマージンをとります。

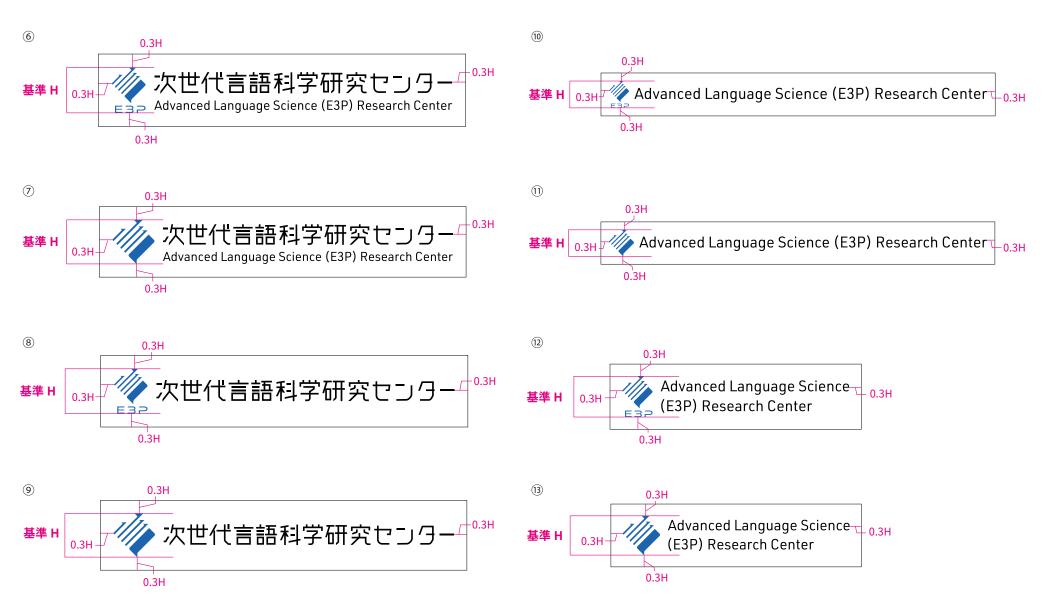


ロゴタイプの高さを基準 H として、周囲に 0.5H のマージンをとります。



ロゴタイプ内のAの高さを基準Aとして、周囲に同じ長さのマージンをとります。

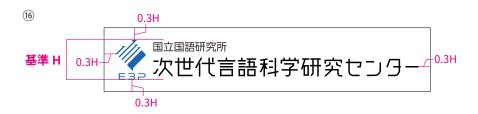
#### 保護領域 (⑥~13)

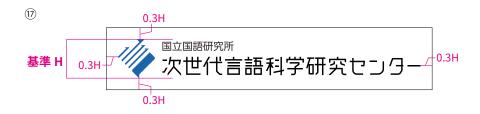


#### 保護領域 (4)~(9)













#### 保護領域 (20~23)

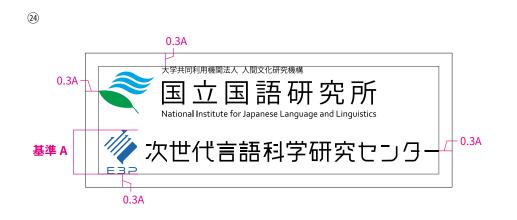








#### 保護領域 (24~27)









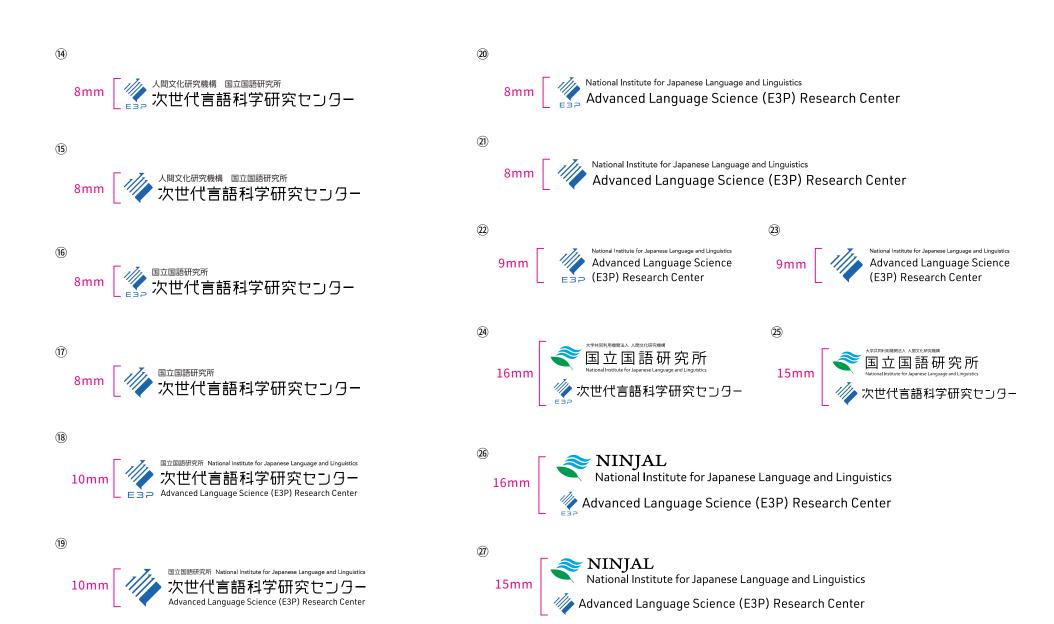
#### 最小サイズ (①~③)

最低限の視認性を確保するため、こちらの最小使用サイズ以下では使用しないでください。

※スマートフォンや PC などのモニター・スクリーン表示では解像度により 実表示サイズが変化するため、特に規定はしていませんが、こちらのサイズを目安に実際の表示画面を見て、文字が読めることを確認してください。



### 最小サイズ (4~27)



## カラー

ロゴで使われているカラーの一覧です。



	シンボルマーク	ロゴタイプ
СМҮК	C90,M60,Y0,K0	C0,M0,Y0,K100
DIC	2597	582
RGB	R28,G100,B173	R0,G0,B0
RGB CODE	#1c64ad	#00000

#### 背景色規定

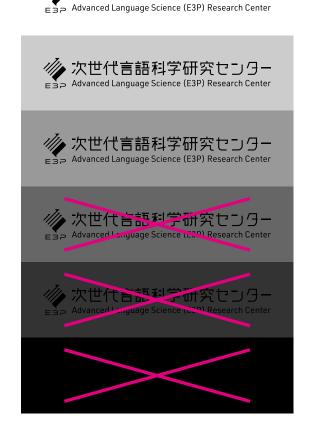
ロゴと背景色の関係を表したチャートです。状況に応じてよりロゴが効果的にみえる組み合わせを選択してください。ロゴはフルカラーでの表示を基本としますが、視認性が低下する場合やフルカラーでの表示が困難な場合は、スミ1色または白抜きでの使用が可能です。

カラー表記:背景色は K0~20%までで使用してください。

モノクロ:背景色  $K0\sim50\%$ まではスミ1色、 $K51\sim100\%$ では白抜きロゴを使用してください。







次世代言語科学研究センター



#### 使用禁止例

こちらにあげた例は、誤った使用の一例です。ロゴから伝わるブランドイメージの一貫性が損なわれる表現となります。効果的にブランドを伝えるために、このような表現しないでください。

動画制作などでロゴにモーションを加えたい場合は、事前にその内容を提示し、許可を得るようにしてください。





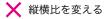




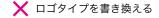








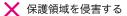




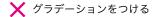














🗙 複雑な模様・写真を背景にする